

玉永寺通信

2008.9

第34号

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



住蓮院安楽寺にて 玉永寺参拝団

菩薩道 ぼさつどう

仏教の長い歴史の中で「菩薩」という言葉には、いろいろな解釈がされてきましたが、基本的には悟りをひらく一歩手前の段階のことを言います。

おもしろいのは、悟ってしまった仏より、菩薩のほうがこの世界の中で活躍すると言われていることです。悩み苦しむ弱い人々の気持ちに近いからこそ、身に添うようにして慈悲を施し、未完成だからこそ絶え間なく歩みつづけようとするのです。

立派であること、完璧であることを求められる社会において、そうでないことにストレスを抱え、追い込まれている人が増えていきます。未完成が大事なのだ、素晴らしいことなのだと言った「菩薩」の教えに、耳を傾けてください。

玉永寺しゃしん日誌

5月15日 富山別院御遠忌法要

通信33号でお知らせしましたように、4月から6月にかけて、富山別院の讃仰行事が盛大に執り行われました。参加していただいた方々に、心から御礼申し上げます。

左の写真は修復された別院での音楽法要の様子です。念仏の道場として活用することが今後の課題となっています。



6月7日、8日 祠堂経法要



講師は朝日町光照寺若院、藤條法彰さん。2日間で140名の方々が参詣してくださいました。

8月4日 玉永寺役員会

各地区の委員20名あまりが参加され、以下の件について審議し、了承されました。詳細については別紙を参照してください。

2007年度 玉永寺年中行事収支報告
及び2008年度予算案

収支報告

富山別院御遠忌・お待ち受け法要懇志金

永代祠堂懇志による本堂補修工事計画

2008年度本山・教区・組御依頼

8月15日、16日 暁天講座

15日は水橋大町本願寺派玉永寺住職、石川了英氏「願いに生かされる」、16日は白山市仙龍寺住職、春秋齋氏「汝自当知」のお話をいただきました。



6月15日～16日

本山参拝に行きました

総勢 20 人で本山屋根瓦修復現場を見学し、法然院、住蓮院安楽寺を参詣しました。ほぼ完成した屋根を目の前で見学し、その荘厳さ、豪華さに感動しました。楽しい思い出ができました。



宮御殿でお齋をよばれました
上品な精進料理に舌鼓！



法然上人ゆかりの寺、法然院を訪ねました。美しい庭が印象に残りました。

10月20日 日中 午後1時半

21日 晨朝 午前10時

日中 午後1時半

宗祖親鸞聖人に会う

報恩講

法話 聞願寺 埴山法雄氏

追記

20日 午前9時半より

仏教婦人会が開催されます

お誘いあわせお参りください



編集後記

顔なじみの方々との別れを惜しみつつ、手を合わせています。長年、責任役員を務めてくださった越由松さん、門徒総代の寺崎亮造さんがお浄土に還られました。毎月第4土曜日、2時から4時まで「玉永寺同朋の会」を開いています。正信偈の教えをわかりやすく解説し、お茶をいただきながら座談をしています。どなたでもおいでになれる楽しい会になっています。ぜひ、ご参加ください。これから年末にかけて、皆さんのお宅へ報恩講のお勤めに伺います。どうぞ、よろしく願います。

玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二一

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846

インターネットホームページ

<http://www.gyokueiji.net/>